



歴史研究所第6期中期計画がスタートします

令和7年度から令和10年度までの事業計画である第6期中期計画を策定しました。より地域に根ざした飯田市独自の社会教育機関として、市民や地域に寄与する諸活動の更なる充実を図るよう取り組みます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

I 基本方針

- 1 「地域遺産」を調査研究・記録し、保存と公開を図り、成果を市民に還元し共有します。
- 2 戦争や災害・くらしの記憶や日々過去となりつつある現在を記録していきます。
- 3 飯田市を対象に包括的に理解するため、歴史的に不可分な下伊那地域や関連する諸地域も対象に調査研究します。
- 4 地域史研究の拠点として、研究活動を行う団体や個人、市社会教育機関と連携し、調査研究及び地域を担う人材の育成と教育普及事業に取り組みます。
- 5 歴史研究所の取組の成果を市民や地域外にも広く発信し、交流を図ります。
- 6 この地域の交通環境の変化に対応してきた歴史をひも解き、これからの地域創造と地域の持続につなげる地域史研究活動に取り組みます。

II 重点目標

- 1 地域アーカイブズの保存・継承
地域史料を散逸・消失から守り、未来に継承するための、調査・記録・保存活動に継続的に取り組みます。歴史公文書の市民への公開・利用の体制構築に向けて協議・検討を進めます。
- 2 地域遺産の再発見と利活用の促進
地域遺産が持つ新たな価値を発見(再発見)して、市民や地域に伝え還元し、利活用に向けた活動を支援していきます。
- 3 市民・地域研究団体等との連携
市民や地域の研究者、研究団体等と連携して地域に密着した調査研究活動を行い、地域史研究や地域遺産の保存継承を進めます。
- 4 地域史研究に関わる人材の育成と教育普及事業の推進
古文書講座の中級者向け講座の開設やオーラルヒストリー調査の「聞き手」の育成に取り組みます。高校生などの若年世代を対象とした学習機会の開設や、市民が参加しやすい方法を検討していきます。
- 5 恒久的施設の立地・環境改善に向けた検討
恒久的施設として、市民の利便性や学習支援の効果を期待できる場所や施設環境、併せて公文書館機能の整備に向けた、あるべき方向性について検討を進めます。

III 基本的事業活動

1 調査研究活動

歴史研究所の諸事業の基盤であり、各研究員が連携し研究・調査事業に取り組みます。

(1) 史料調査

文献史料、オーラル史料、建造物、景観、行政文書、映像、写真、音声等

(2) 研究活動

基礎共同研究、基礎研究

(3) 各種研究会

地域史研究集会、ワークショップ、定例研究会、史料研究ノート、年報の刊行

2 教育普及活動

調査研究活動の成果を市民に還元し地域史を学ぶ場を提供します。

(1) 地域史講座

(2) 飯田アカデミア

(3) ゼミナール・ワークショップ

(4) 古文書講座

(5) 出前講座

(6) 美術博物館トピック展示

3 研究人材の育成と地域連携

地域史研究の活性化を目指し、研究人材のすそ野を広げ、研究団体や研究者との協働に継続して取り組みます。

(1) 市民研究員制度

(2) 研究活動助成

(3) 飯田歴研賞

(4) 地域史研究団体との協働

4 地域史編纂・出版事業

調査研究成果を地域やテーマに沿って書籍として出版します。

(1) 歴史研究所年報

(2) 調査報告

(3) 史料編纂

(4) 地域史叙述

(5) 刊行支援



2024 地域史研究集会の様子

IV 歴史研究所の体制整備

1 組織・運営

研究員の体制の維持に向けて現状の点検と評価を行います。利用者の利便性向上として、ウェブサイトでの所蔵資料の検索に向けたシステム構築などについて取り組みます。

2 連携

調査研究、教育普及、人材育成の取組において、市社会教育機関や学校、大学等研究機関、研究団体等と連携していきます。次代を担う若年層向けに、小中学校や、高校での地域の学習における「出前講座」の実施など、学習支援に取り組みます。

市民研究員候補・歴史研究活動助成・ 飯田歴研賞2025候補作品を募集します

歴史研究所では、飯田下伊那を対象とした地域史研究のさらなる発展を目指して、研究者の養成、研究活動への助成、優れた研究成果の表彰を行っています。2025年度も市民研究員候補、歴史研究活動助成、歴研賞候補作品を募集しますので、奮ってご応募ください。

(各募集の要項や申込書等は歴史研究所のホームページよりダウンロードできます。)

〈市民研究員候補〉

市民研究員候補として、市民研究員養成課程の2年間で、飯田下伊那の地域史にかかわるテーマの研究に取り組んでいただきます。研究員の指導のもと、各種の教育プログラムを通して、歴史研究の基礎を学びながら、修了論文の作成を目指します。課程修了後は市民研究員となり、歴史研究所の調査研究活動にご参加いただけます。

- ★募集人数 若干名
- ★応募方法 要項をご確認のうえ、申込書を歴史研究所へ提出してください
- ★募集期間 5月1日(木)～7月31日(木)必着
- ★審査結果 書類審査と面接を行い、8月末までに採否をお知らせします

〈研究活動助成〉

飯田下伊那を対象とした歴史研究活動に経費の助成を行います。

- ★応募資格 ①飯田市内や下伊那郡内に住所を有する団体、②卒業論文を作成する大学生、または修士論文を作成する大学院生
- ★研究期間 2026年2月まで。大学院生は2027年2月までも可
- ★助成金額 経費(上限10万円)の半額。大学院生が2年間助成をうける場合は、2年間の経費(上限15万円)の半額
- ★募集期間 5月1日(木)～7月31日(木)必着
- ★審査結果 書類審査などを行い、8末日までに本事業に適した研究か決定します
- ★助成金の交付 研究期間の終了後、実績報告書や成果報告などに基づき、本事業の目的や助成条件に適した研究が審査して、助成金を交付します

〈飯田歴研賞2025候補作品〉

前年度に発表された飯田下伊那の地域史研究に関する優れた作品に歴研賞(著作賞、論文賞)や奨励賞をお贈りしています。その候補作品を募集します。自薦・他薦は問いません。

- ★対象作品 2024年4月～2025年3月に刊行・発表された著書・論文(自費出版を含む)
- ★募集期間 5月1日(木)～6月28日(土) 作品を持参または郵送してください

新刊案内

史料で読む 飯田・下伊那の歴史4 満洲移民・青少年義勇軍

2025年3月刊行 飯田市歴史研究所 編

B5版93ページ 定価1,400円(税別)

歴史研究所では、設立以来20年にわたり、飯田下伊那の満洲移民・青少年義勇軍を重要なテーマとして調査研究に取り組んできました。この間、合併前の旧村役場の史料や体験者からの聞き書き、日記史料などの調査を積み重ねてきました。

そうした多くの記録から、本書では13点を取り上げ、それぞれ1つの章で史料の読み方や歴史的な背景を丁寧に解説しています。本書で取り上げたものは、旧村役場文書、体験者の聞き書き、当時の刊行物、個人の日記、手紙や感想文、開拓団からの報告書、満洲で詠んだ漢詩、集合写真です。また、開拓団の送出だけでなく、それ以前の飯田下伊那の社会や敗戦後の再開拓も対象としています。このように様々な史料や聞き書きを読み解きながら、満洲事変からアジア太平洋戦争期まで飯田下伊那から送出された満洲移民とは何だったのかを考えます。ぜひ多くの人にお手にとっていただければと思います。



地域史講座 『下伊那の満洲移民—旧村役場文書から—』

書籍の刊行に合わせ、今年度は執筆者が内容を紹介する地域史講座を5月・6月・10月の3回に分けて開催する予定です。

第1回は、旧村役場に残された史料から、開拓団を送出していく下伊那の村々の様子を紐解きます。

飯田下伊那には、合併前の旧村役場（各地区）に多くの文書が残されています。

旧村役場文書の満洲移民に関する史料調査の成果をもとに、そこから分かったことを紹介します。

日時：5月24日（土）13:30～16:00

講師：本島和人 敗戦間際に送出された南信濃郷 ほか
松葉孝子 千代分村と農村更生協会の早川孝太郎
田中雅孝 大恐慌下の農村救済請願 —伊賀良村—

会場：飯田市役所C棟3階会議室
(変更があるときはHPにてご案内します。)

申込み：電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。
お名前、電話番号をお知らせください。
締切：5月22日（木）

※受講無料

定例研究会

土地証文からみる貢租の変化 —久米村を事例に—

報告者：前澤 健（特任研究員）

日時：4月19日（土）14:00～16:00

会場：歴史研究所研修室

※聴講をご希望の方はお電話ください

新刊案内

『飯田市歴史研究所年報』22

2025 年 2 月刊行 飯田市歴史研究所編

B5 判 235 頁 定価 2,500 円 (税別)

特集「飯田下伊那の学制と地域社会 ―「人づくり」から「ひとなる」へ―」は、学校と地域の歴史的な関係について考えた第 20 回飯田市地域史研究集会 (2023 年 9 月開催) の内容をまとめたものです。

小特集「地域の歴史を未来へ引き継ぐ ―飯田下伊那地域史研究の現在―」は、歴史研究所のこれまでの足跡を振り返り、あわせて地域史研究の成果と課題を議論した歴史研究所設立 20 周年ワークショップ (2024 年 2 月開催) の成果です。

このほか、普通選挙施行後の県議員選挙について検討した研究ノート、遠山地域で働いた王子製紙の山林労働者に関する史料の紹介、歴史研究所 20 年間の活動記録、新刊紹介、展示評なども掲載しています。最新の地域史研究の成果をお楽しみください。



【特集】飯田下伊那の学制と地域社会

―「人づくり」から「ひとなる」へ―

学校と地域の関係史

―地域にとつての学校／学校にとつての地域―

木村元

明治初期の学校世話役

―小学校の設置・運営と地域社会―

多和田真理子

地域と共に歩む下伊那農業高校

遠山善治

松下千尋における青年教育の可能性

田中雅孝

満洲開拓慰霊碑が子どもたちに遺したもの

―千代小学校 6 年生の学び―

坂下力

記念誌発行の意義と学校に残したい資料について

田添莊文

【小特集】地域の歴史を未来へ引き継ぐ

―飯田下伊那地域史研究の現在―

生きるための江戸時代史

多和田雅保

歴史文化を活かした地域づくり―座光寺の取組み―

田口博人

建築史研究と地域

岩田会津

私の地域史研究の歩みと飯田市歴史研究所

田中雅孝

満洲移民研究の立場から

―歴史研究所設立と聞き取り・文書調査―

本島和人

【研究ノート】

普通選挙初の県議選と下伊那地方の政治的方向

本島和人

歴研ゼミ & ワークショップ

4月・5月の予定

会場：歴史研究所 研修室

近世史ゼミ

「飯田御用覚書」を読む

担当：羽田 真也 (研究員)

4月9日・23日／5月14日・28日

(第2・第4水曜日) 18:30～20:30

建築史ゼミ

身近な空間の歴史を調べてみる

担当：岩田 会津 (研究員)

4月18日／5月16日

(第3金曜日) 18:30～20:30

地域史ゼミ

大正期 LYL 事件の刑事記録を読む

担当：伊藤 悠 (研究員)

4月10日／5月8日

(第2木曜日) 13:30～15:30

思想史ワークショップ

清水幾太郎『天皇論』他の輪読と論議

担当：原 英章 (調査研究員)

4月2日・16日／5月7日・21日

(第1・第3水曜日) 19:00～21:00

満洲移民研究ゼミ

文書・記憶・個人の記録から考える

担当：本島 和人 (調査研究員)

第159回 4月5日／第160回 5月10日

(第1土曜日・5月変更有) 10:00～11:40

近現代史ゼミ

昭和 11 年の胡桃澤盛日記を読む

担当：田中雅孝 (調査研究員)

4月26日／5月24日

(第4土曜日) 10:00～11:40

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL：0265-53-4670

開所時間：午前 9 時～午後 5 時 休所日：日曜日・月曜日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日

※ 歴研ニュースはメール配信しております。ご希望の方は、メールアドレス・お名前を添えて

歴史研究所まで電話、またはメールにてお申し込みください。 E-mail iih@city.iida.nagano.jp